

賀谷藻部の紹介

賀谷藻部 (mob) とは
NPO法人賀谷藻場保全会の
公式応援団体です。

NPO法人賀谷藻場保全会が行う
藻場再生活動への協力と、
漁村との交流を目指しています。

応援会員の皆様には、mob通信と、
心からの返礼品をお送り致します。
どうぞお気軽にお尋ねください。

NPO法人賀谷藻場保全会の活動を、
応援団体賀谷藻部会員の皆様と共に
続けて参ります。

応援会員の年会費と返礼品の回数

Sコース・ガヤモバ海
120,000円/年 4回
Gコース・ガヤモバ土
30,000円/年 4回
Aコース・ガヤモバ水
10,000円/年 2回
Wコース・ガヤモバ風
5,000円/年 1回



振込先
九州信用漁業協同組合連合会
長崎統括支店 (県コード9489 店番004)
普通口座 口座番号 5100113
特定非営利活動法人賀谷藻場保全会



<https://gayamoba-2.jimdosite.com/>



[gayamoba](https://www.facebook.com/gayamoba)



[@gachimoba](https://twitter.com/gachimoba)



[gaya.mob](https://www.instagram.com/gaya.mob)



[gayamob](https://line.me/tv/gayamob)



0920-55-0246
gayamobahozenkai
@gmail.com



当パンフレットは環境省の令和4年度
「令和の里海づくり」モデル事業で作成しました



mob通信 vol.1

素晴らしき今日を
あなたとともに



発行
NPO法人賀谷藻場保全会



2021年12月24日 曇のち雨 賀谷藻部(mob)始めました

温暖化の影響により対馬の海から海藻がなくなりました。



美津島町賀谷海域においても、あらゆる海藻は消滅し、保全是急務です。

そして、海の森再生へ、漁民に限らず、多方面から志を持った住民が集まり、保全活動を展開している団体が、NPO法人賀谷藻場保全会です。

賀谷藻部はこれらの活動を応援し、交流の輪を広げていきます。

NPO法人賀谷藻場保全会の主な活動

1. 海の中の観察
2. 海藻の種苗を海に入れる活動
3. 山への植樹作業と植樹祭
4. 賀谷の製品の販売
5. 環境と保全の大切さをお伝えする活動



長崎県対馬市は2020年にSDGs未来都市に認定され、環境保全や、海ごみ対策、対馬グローバル大学などが実践されています。この対馬で、私たちも、自然環境について考え、行動していきたいと思っています。

対馬グローバル大学はこちら



2022年3月27日 晴れ 植樹祭を行いました

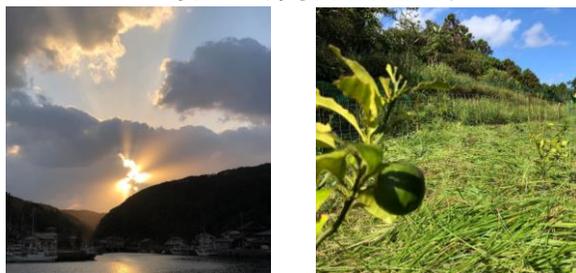
第三回対馬海の森とヤマネコの植樹祭を開催し、76名の方が参加して下さいました。関わって下さいました皆様、応援を頂いた皆様、ありがとうございます。来年もよろしくお願ひします。



森林組合の方々のご指導のもと植え込みも上手くいきました。今年も植林地の面積を拡大し、クリの木を10本植えました。人々が山に入り続けることで、海底湧水が活発になり、海藻の回復につながればと考えております。山と海のつながりについて、詳しくは、SNSやホームページをご覧ください。



植樹祭では、海の人、森の人、そして、対馬馬も集まり、毎年恒例のBBQでイノシシ、シカ、サザエなどをみんなで食べて、交流しました。



賀谷の夕日

昨年植えたダイダイが
実りました

2022年5月15日 晴れ カジメの沖出しをしました

天然カジメが増えるように、今年もカジメの種苗を海に投入しました。10cmほどに育った新芽を、魚や貝に食べられないように防御枠に入れていきます。この作業をNPOのメンバーで行いました。



曇りの予報でしたが、晴れてきたので、急いで海に放り込みました。



このカジメの赤ちゃんをどこに設置するかが考えどころです。

5月の賀谷の海藻モニタリング調査では、各地で海藻の復活の兆しが見られています。



復活した天然カジメ

投入した石に芽吹いたカジメ

保全活動へのご協力ありがとうございます。これからも応援よろしくお願ひいたします。